

# Hirata

The Global Production Engineering Company

## 2019年3月期 第1四半期 決算説明資料

平田機工株式会社



# I. 決算状況

2019年3月期 第1四半期 (4~6月)

Hirata



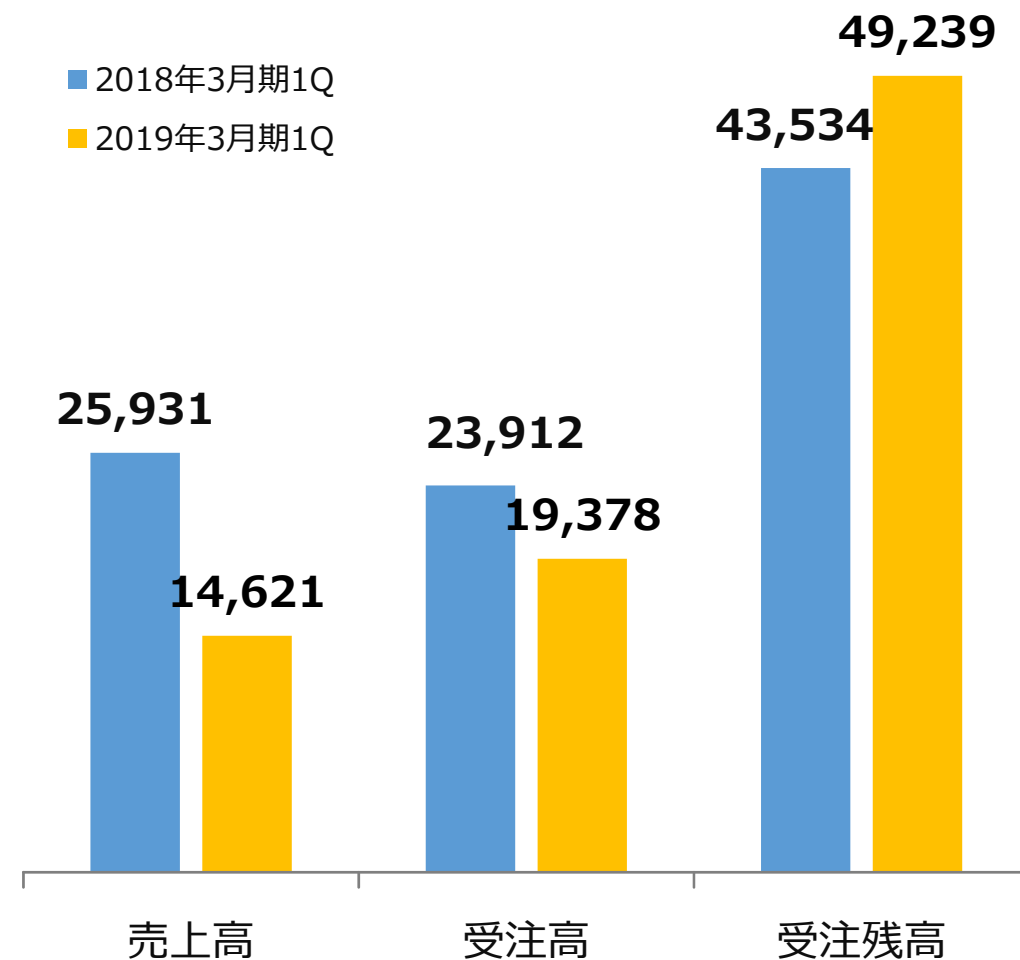
## 決算概要

自動車関連の受注は大幅に増える一方で、半導体関連設備の有機EL蒸着装置や家電関連などの受注が減少した。また、この第1四半期売上予定案件のうち、7月以降にずれ込んだものもあり、減収・減益となった。

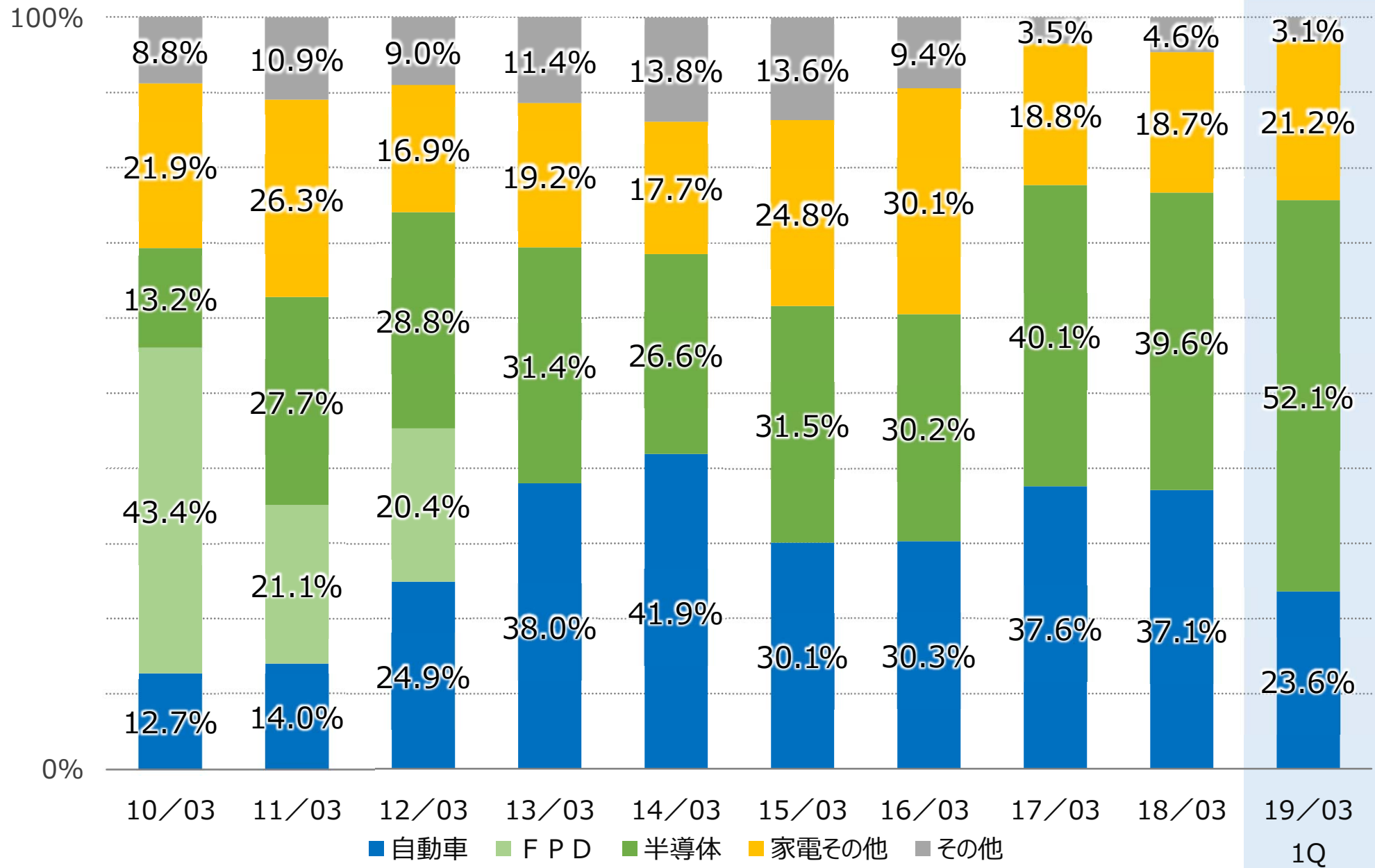
(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2018年3月期 1Q実績	2019年3月期 1Q実績	増減率
売上高	25,931	<b>14,621</b>	△43.6%
営業利益	3,181	<b>1,471</b>	△53.7%
経常利益	3,095	<b>1,691</b>	△45.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,064	<b>1,123</b>	△45.6%

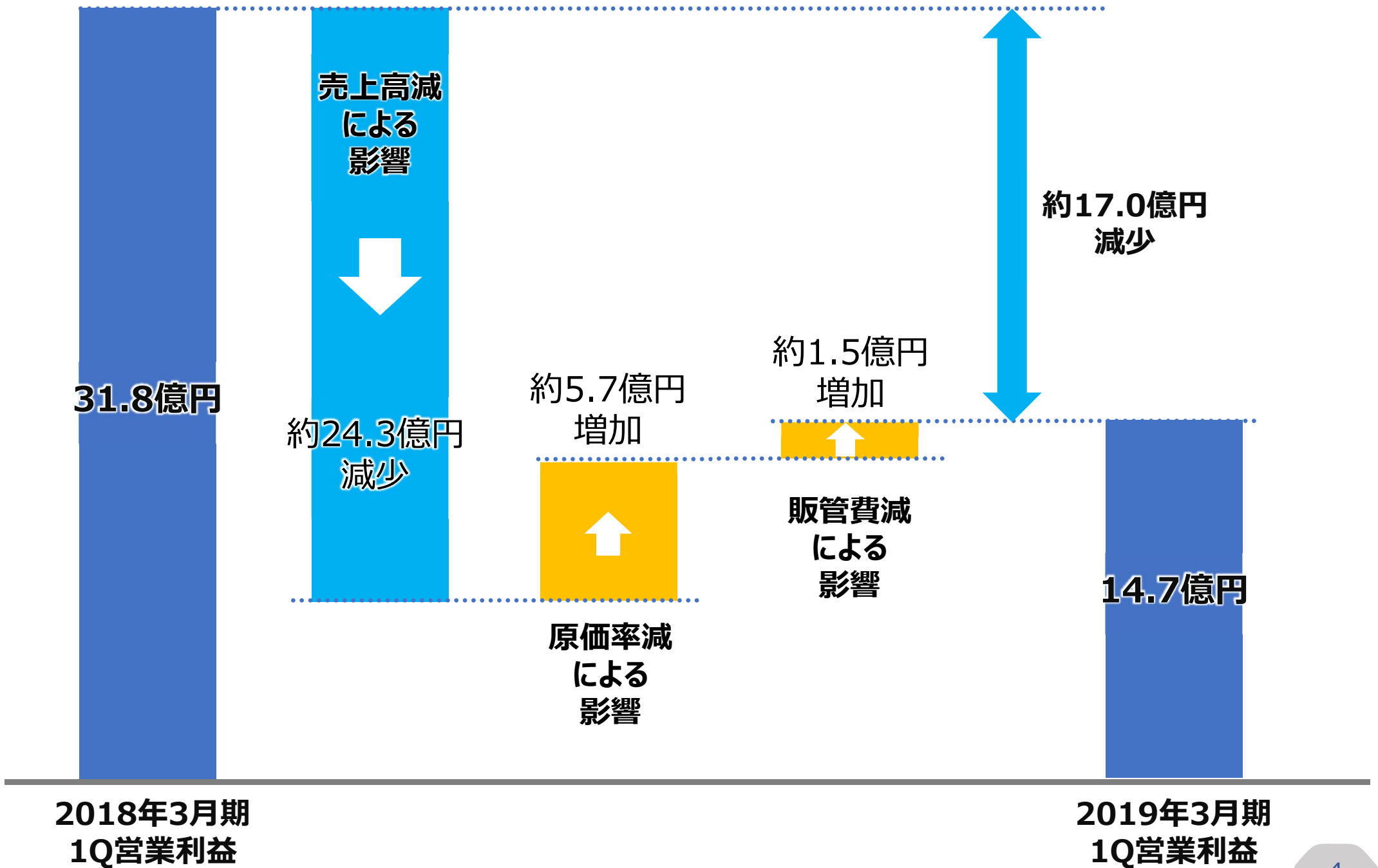


# I 決算状況 事業部門別売上高構成比推移



※2013年3月期より、FPD関連事業は半導体関連事業に統合

# I 決算状況 営業利益の増減要因分析



## 貸借対照表

※2018年3月期および2019年3月期1Qの金額は、改正後の「税効果会計に係る会計基準」の表示に組み替えております。

(単位：百万円)

資産	2018年 3月期	2019年 3月期1Q	増減
流動資産	71,467	<b>72,671</b>	<b>+1,204</b>
固定資産	23,863	<b>24,468</b>	<b>+604</b>
有形固定資産	17,376	<b>18,211</b>	<b>+834</b>
無形固定資産	814	<b>775</b>	<b>△38</b>
投資その他資産	5,672	<b>5,482</b>	<b>△190</b>
資産合計	95,330	<b>97,139</b>	<b>+1,809</b>

負債	2018年 3月期	2019年 3月期1Q	増減
流動負債	37,485	<b>38,696</b>	<b>+1,210</b>
固定負債	11,262	<b>12,259</b>	<b>+996</b>
負債合計	48,748	<b>50,956</b>	<b>+2,207</b>
純資産			
純資産合計	46,582	<b>46,183</b>	<b>△398</b>
自己資本比率	48.3%	<b>47.0%</b>	<b>△1.3Point</b>

### 主な増減項目

#### 資産

棚卸資産	+3,523
現金及び預金	+1,532
売上債権	△3,972

#### 負債・純資産

有利子負債	+3,106
未払費用	△875
未払法人税等	△815

## 想定為替レート

(単位：円)

想定為替レート	2018年4月1日～6月30日 実績レート	2018年7月1日～ 想定レート
為替レート (対US \$)	106.30円	100.00円

## 株価推移

(単位：円)

株価推移	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年3月期		
			4月	5月	6月
最高	9,560	14,720	10,580	10,530	8,270
最低	2,275	8,030	9,070	7,650	7,230
末日	9,010	9,780	10,380	7,970	7,950

## PER/PBR/ROE

PER/PBR/ROE	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期1Q
PER (倍)	14.43	15.26	—※
PBR (倍)	3.12	2.26	1.86
ROE (%)	24.30	18.18	—※

※PER・ROEについては、四半期の利益では比較に適さないため記載しておりません。

# I 決算状況 事業部門別売上高・受注高・受注残高

(単位：百万円)

	事業部門	2018/3 第1四半期	2019/3 第1四半期	対前年同期比 増減率
売上高	自動車	10,731	3,456	△67.8%
	半導体	9,879	7,617	△22.9%
	家電関連およびその他	4,058	3,097	△23.7%
	その他	1,261	450	△64.3%
	合計	25,931	14,621	△43.6%
受注高	自動車	5,026	11,488	+128.5%
	半導体	12,542	4,424	△64.7%
	家電関連およびその他	5,688	3,156	△44.5%
	その他	655	310	△52.6%
	合計	23,912	19,378	△19.0%
受注残高	自動車	19,680	25,489	+29.5%
	半導体	15,575	12,703	△18.4%
	家電関連およびその他	6,507	10,840	+66.6%
	その他	1,771	206	△88.4%
	合計	43,534	49,239	+13.1%



# I 決算状況 海外現地法人の状況

## 所在地別売上高



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	18/3 1Q	<b>19/3 1Q</b>	18/3 1Q	<b>19/3 1Q</b>	18/3 1Q	<b>19/3 1Q</b>	18/3 1Q	<b>19/3 1Q</b>	18/3 1Q	<b>19/3 1Q</b>
売上高	22,964	<b>12,387</b>	2,217	<b>1,162</b>	557	<b>942</b>	191	<b>128</b>	25,931	<b>14,621</b>
営業利益	3,424	<b>1,378</b>	262	<b>44</b>	△404	<b>63</b>	△2	<b>△20</b>	3,279	<b>1,466</b>

※営業利益の合計はセグメント間の消去を行う前の金額を表示しています。

## 欧州完成車メーカーからEV関連設備を受注

2018年4月、弊社は自動車関連生産設備事業において、欧州の完成車メーカーから電気自動車（EV）関連のバッテリーパッケージング設備を約20億円にて受注いたしました。

弊社におけるEV関連の初受注は2017年3月期。本件はEV関連の実績の積み増しとなるだけでなく、進出が難しかった欧州市場の突破口となり、今後の販路拡大につながる重要な案件となります。



## — お客さまからの表彰・受賞など

弊社は、ゼネラルモーターズ社(以下、GM社)から、「2017 Supplier of the Year」を受賞しました。

この賞は、GM社の期待を上回る価値を生み出し、革新的なテクノロジーと高品質を提供した17カ国125社に贈られたものです。今回で3回目の受賞となった弊社は、トランスミッション組立設備部門から選出されました。

2018年4月20日、フロリダで開催された受賞式にて記念の楯を拝受



## 国内子会社 タイハイテクノスの新拠点建設

2018年5月、弊社の子会社であるタイハイテクノス株式会社が、延床面積1,737.95㎡ の2階建て技術棟を新設いたしました。

この技術棟は、ハーネス・盤配線組立・計装工事などの一貫生産ができる拠点となり、今後の事業拡大に向けて取り組んでまいります。

技術棟のイメージ



5月28日の竣工落成式



## Ⅱ. 2019年3月期業績の見通し

2019年3月期 第1四半期（4～6月）

Hirata



	2018年3月期 実績		2019年3月期 予想	
<b>売上高</b>	94,163		<b>95,000</b>	
自動車関連	34,955		<b>40,000</b>	
半導体関連	37,338		<b>30,000</b>	
家電関連およびその他	17,569		<b>22,000</b>	
その他	4,299		<b>3,000</b>	
<b>営業利益（率）</b>	9,371	(10.0%)	<b>6,500</b>	<b>(6.8%)</b>
<b>経常利益（率）</b>	9,247	(9.8%)	<b>6,400</b>	<b>(6.7%)</b>
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益（率）</b>	6,666	(7.1%)	<b>4,400</b>	<b>(4.6%)</b>

### 通期業績予想の理由および事業計画達成のための施策

- 自動車関連では、内燃系に加え、電気自動車（EV）関連の生産設備の受注拡大に努める。
- 半導体関連では、有機ELディスプレイ蒸着装置の受注が減少。IoT関連や自動運転技術などによるシリコンウェーハ搬送設備案件の拡大が見込まれる。
- 成長市場への積極的展開に加え、効率的な生産体制の構築、収益基盤の強化に努める。

### 自動車関連事業

世界の自動車販売数は、中長期的に増加の方向にあり、北米・中国・インド・タイなどでの販売拡大が予測される。今後、電気自動車（EV）が増加する見込み。国内は、需要が回復し、堅調推移の見通し。弊社は、トランスミッションなどのパワートレインおよびEV関連生産設備を中心に堅調推移の見込み。

### 半導体関連事業

半導体関連市場においては、自動車や家電など、さまざまな製品に半導体製品が使用されるようになったことから引き続き拡大。有機ELパネルにおいては、スマートフォン向けが市場をけん引し、テレビや車載ディスプレイの市場拡大が予測されるものの、現状では需要が減少し、先行きが不透明な状況。

### 家電関連およびその他

中国市場において、需要の一巡による成長の鈍化も見られるが、富裕層向けの高級家電の需要が高まり、金額ベースでの市場は拡大する可能性あり。弊社は、主要顧客の商品である掃除機を中心とした高機能家電の生産設備について継続受注に努める。また、タイヤ関連の受注も見込まれる。

# Ⅲ. 参考資料

2019年3月期 第1四半期 (4~6月)

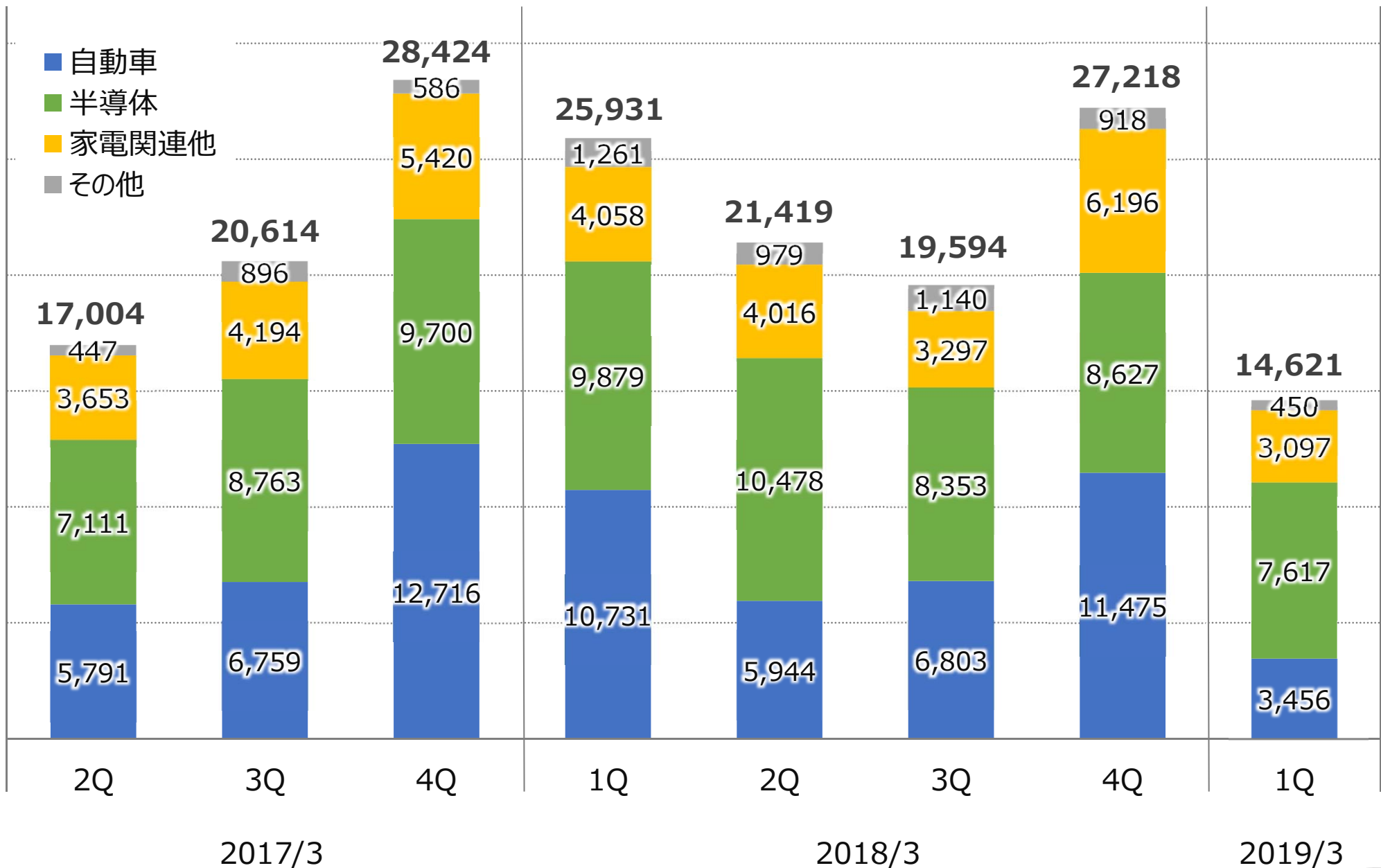
Hirata





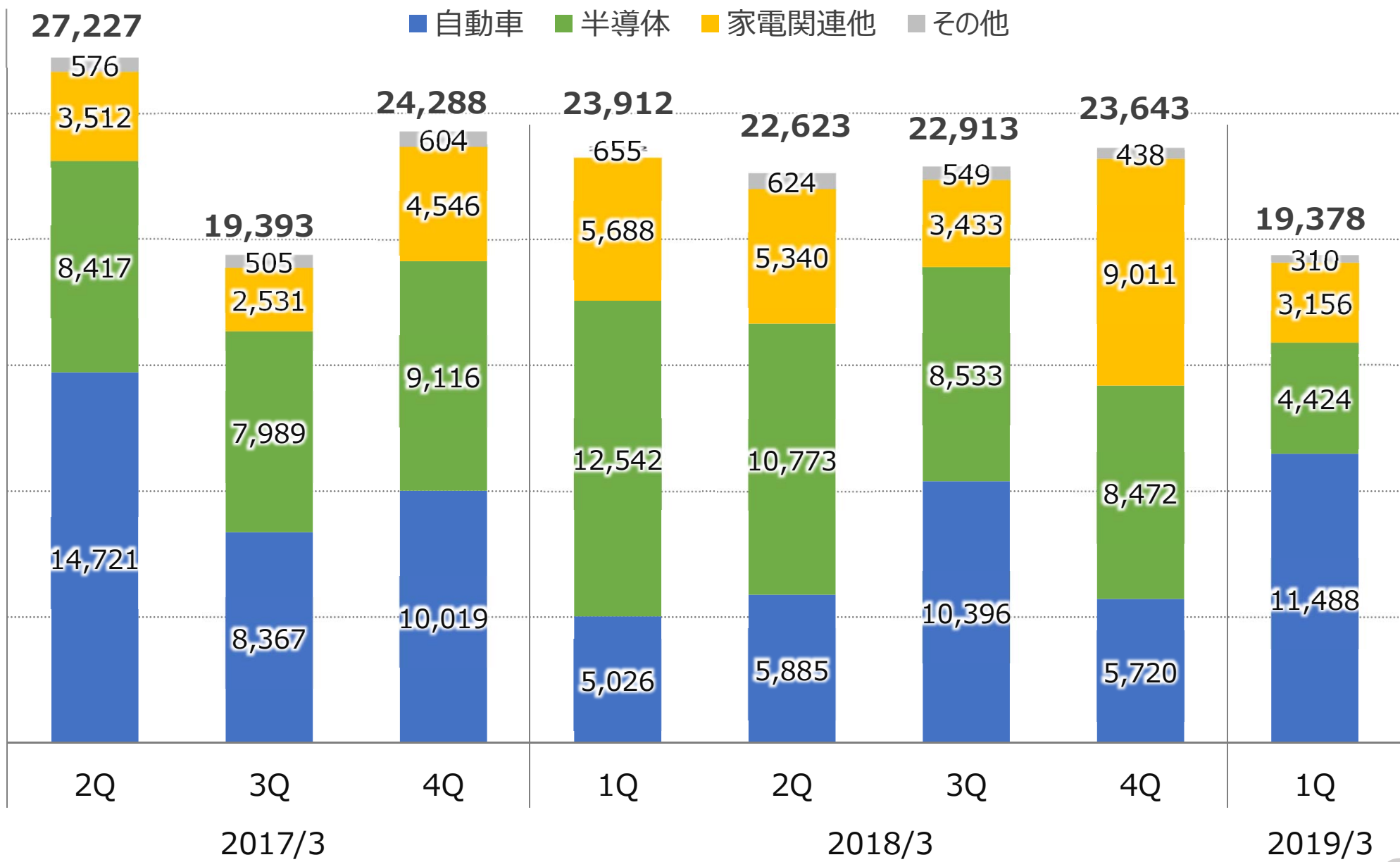
## 事業部門別四半期売上高の推移

(単位：百万円)



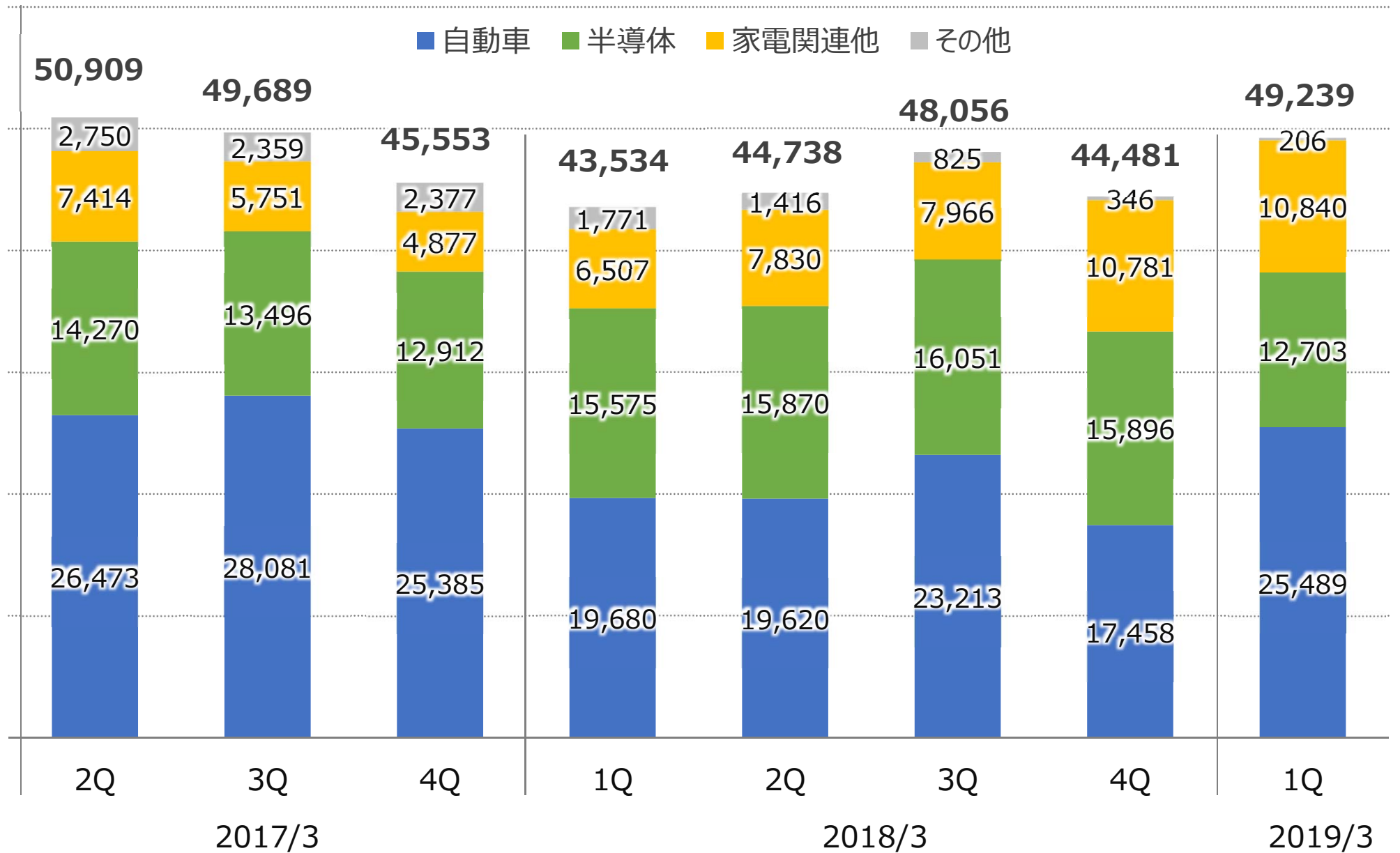
## 事業部門別四半期受注高の推移

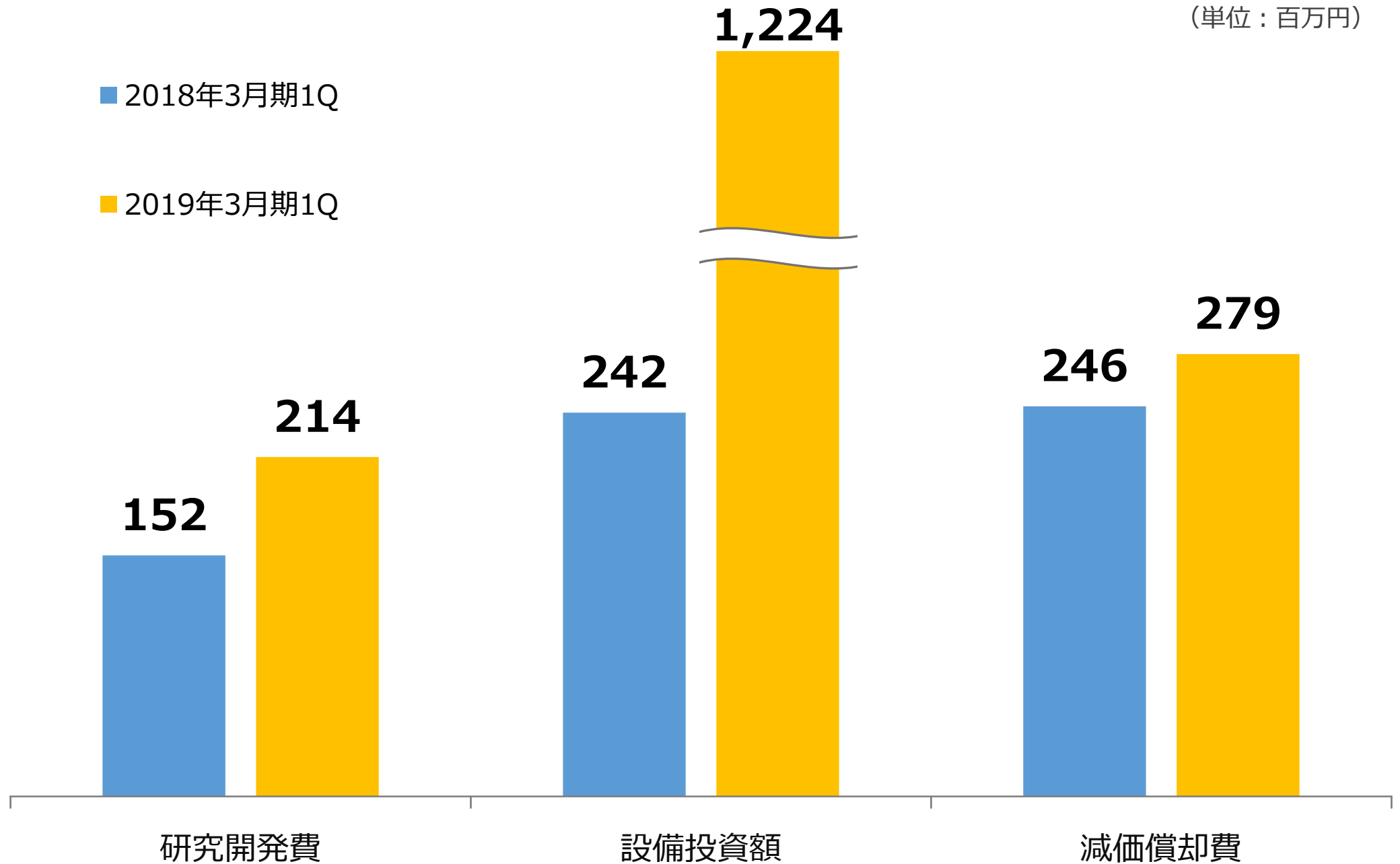
(単位：百万円)



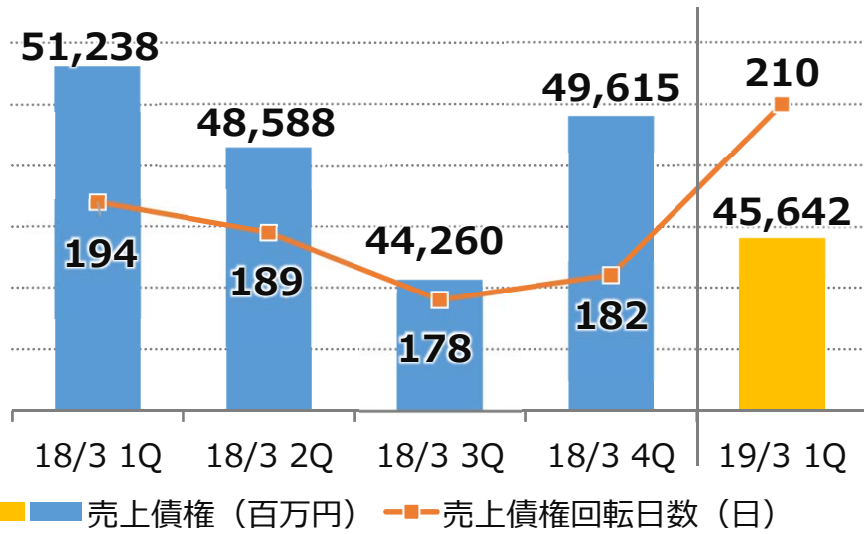
## 事業部門別四半期受注残の推移

(単位：百万円)

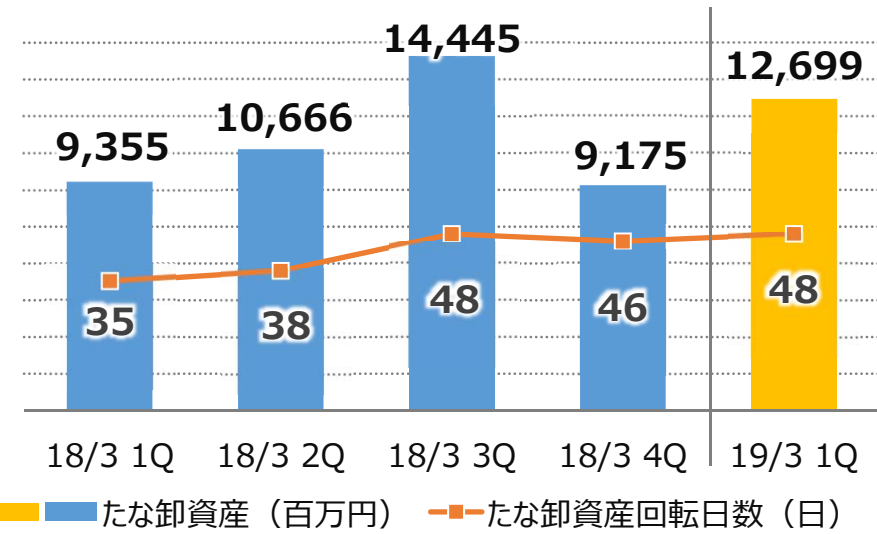




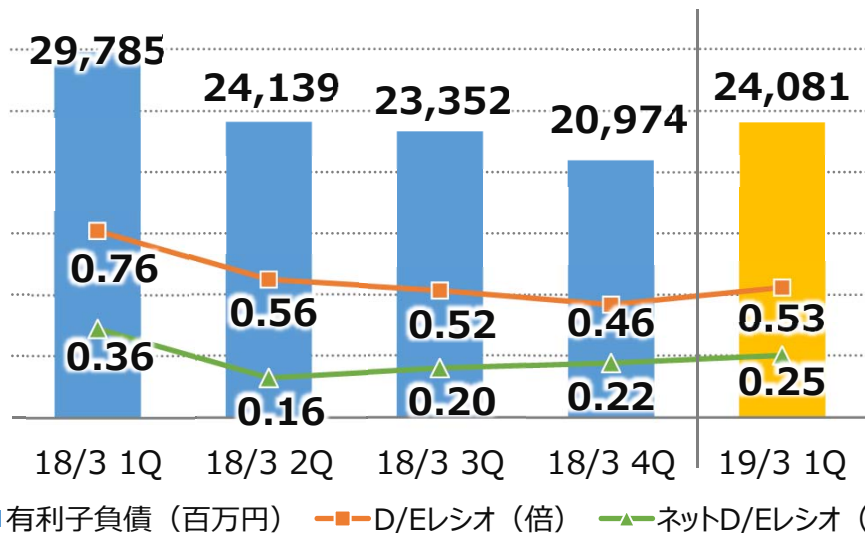
## 売上債権・売上債権回転日数



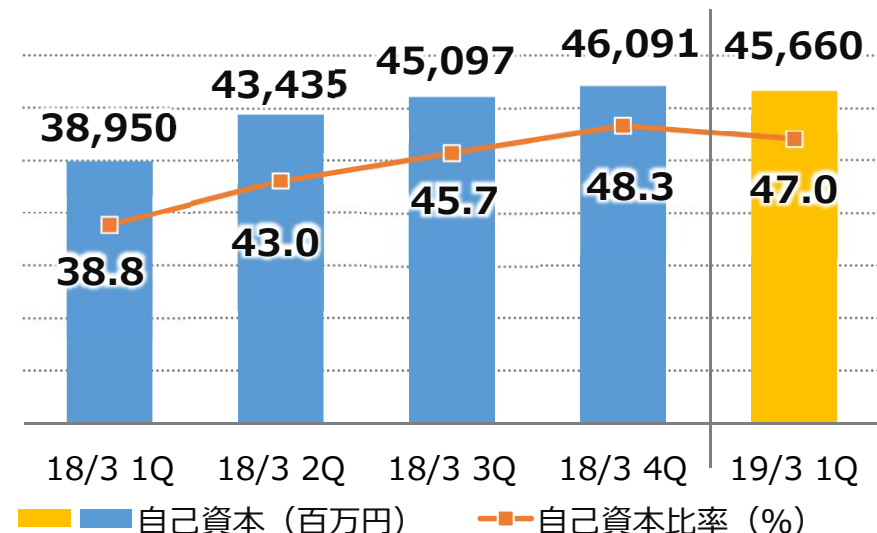
## たな卸資産・たな卸資産回転日数



## 有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



## 自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。  
2018年3月期および2019年3月期1Qの金額は、改正後の「税効果会計に係る会計基準」の表示に組み替えております。

## ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。